

乳幼児と保護者の  
"イングリッシュデビュー"を応援



「スキンシップ」講師 佐野 美帆さん  
「英語 = 勉強」と思っていませんか。生活中で英語を口ずさむ、そんな気軽な感覚で楽しみましょう。



「リトミック」講師 峯松 由貴さん  
身体全体で音楽を感じることはとても大切です。英語を取り入れながら感情を全身で表現してみましょう。



「体操」講師 三船 美也子さん  
身体を動かしてリズム感を養えば英語の発音も  
上達するんですよ！ママの運動不足解消効果も！



期 う 教 無料で参加できるのが嬉しいですね。

英語教育へスマーズに繋げていく」とを狙いとしています。

市内に住む約200組の親子が、会場となつた地区センター3カ所とサンウェルぬまづにそれぞれわかれ、「スキニシップ」「リトミック(※)」「体操」の全3回コースに取り組みました。幼児教育の専門講師を指導者に迎え、親子で一緒に英語で遊び、歌い、身体を動かしていくことで、楽しみながら英語のリズム感や感情表現を身につけていきます。この教室をきっかけに、子どもの「英語が好き!」といふ気持ちを育て、国際感覚の芽生えを促すことが待されます。

# ぬまづ英語 ふれあい教室



「リトミック」講師 峯松 由貴さん  
身体全体で音楽を感じることはとても大切です。英語を取り入れながら感情を全身で表現してみましょう。



～参加したママから～  
子どもと一緒に楽しく英語に親  
しみたい！また参加したいな。

沼津市独自となるこの新たな取り組みに参加し  
たママたちからは、「親子英語教室」に興味はある  
ものの、自身の英語力に自信がないため敷居が高  
く躊躇していたが、市主催の教室に参加してみて  
遊び感覚で気軽に楽しめば良いと知った」「これか  
らは教室で学んだことを活かして子どもが英語に  
親しみ興味を持つよう、生活に取り入れていきた  
い」といった声が多く聞かれ、大変好評でした。

無料で参加できるのが嬉しいですね。  
英語教育へスマーズに繋げていくことを狙いとしています。

市内に住む約200組の親子が、会場となつた地区センター3カ所とサンウエルぬまづにそれぞれわかれで、「スキンシップ」「リトミック(※)」「体操」の全3回コースに取り組みました。幼児教育の専門講師を指導者に迎え、親子で一緒に英語で遊び、歌い、身体を動かしていくことで、楽しみながら英語のリズム感や感情表現を身につけていきます。この教室をきっかけに、「子どもの『英語が好き!』といふ気持ちを育て、国際感覚の芽生えを促す」とが期待されます。

グローバル化(国際化)が進んでいく今、将来に向け「我が子にしつかりとした英語力を身につけてさせたい」と願う保護者の皆さんが多くなりました。そのためには、乳幼児期に五感を通して英語に慣れ親しむことが大切であり、そのきっかけづくりとなるよう今年度初めて「ぬまつ英語ふれあい教室」を開催しました。



## 特集 英語に親しみ国際感覚を育む

## 第一小学校5年生の言語科授業(英語の時間)の様子



平成18年に教育特区の認定を受け、市内小・中学校で読解の時間と英語の時間からなる「言語科」が全国で初めて設置されて以来、沼津市は言語教育の推進に取り組んできました。特に英語の時間では、外国人講師のALT（外国語指導助手）を配置し、本場の英語を耳で聴いて、文脈や単語を拾い、表情や身振り、手振りからその意味を推測して内容を理解し会話に繋げる実践的な「ミニユニケーションを行つてゐるほか、ALTの出身国や各國の文化や習慣、また日本との違い等について知る良い機会となつています。今回取材した第一小学校5年生の授業では、子どもたち一人ひとりがいきいきとした表情でALTと英語で会話することを楽しんでおり、その姿に驚かされました。

「ミニユニケーションで大切なことは「まずは物怖じしないで話してみる」と。『言語科スター』と当時から、携わつてゐるスティーブ・スマス先生は、「他の科目の授業と違つてどうか特別視されていた英語の時間が、今では外国人に抵抗なく自然に話しつけてくる子どもたちの様子が見られ、子どもたちはすばらしいですね」と話します。

英語教育をリードし、先進事例として全国の教育現場からの視察も多い沼津市。次に紹介する新たな試みを図るなど、これからも有意義な英語教育を実践し、試金石の役割を果たしていきます。